

苺の育苗期におけるカルシウム効果の試験

【カルシウム肥料=カル元気】

無処理苗（左）：カルシウム苗（右）

【試験の目的】

- 1.蒸散を促して苗の充実（健苗苗）
- 2.蒸散により苺苗温度の調整（分化促進や分化揃え）
- 3.茎葉根の硬化対策

【試験の結果、推測されること】

- 1.上写真の様にカルシウムを灌水した苗は葉（気孔）からの蒸散水はやや多くなった。
- 2.下写真は、サーモを使って葉の表面温度を測定したところ、左側のカルシウムを使用した苗程やや低い傾向であった。 *Center温=無処理苗>カルシウム苗
- 3.育苗期に定期的にカルシウムを使用した苗は草丈など徒長もなく出来た。
(HPに搭載しています)

